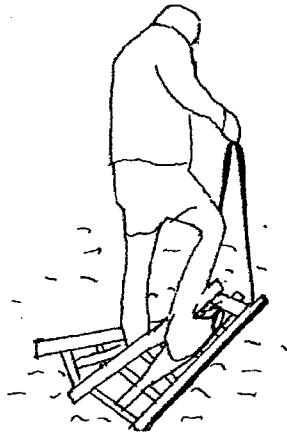
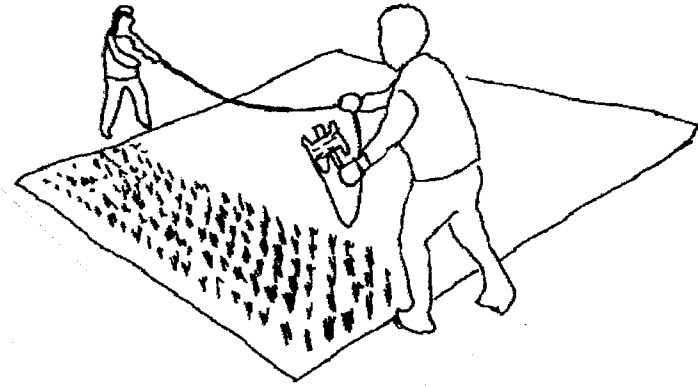


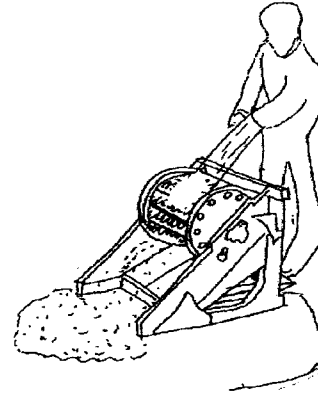
土間にある道具①



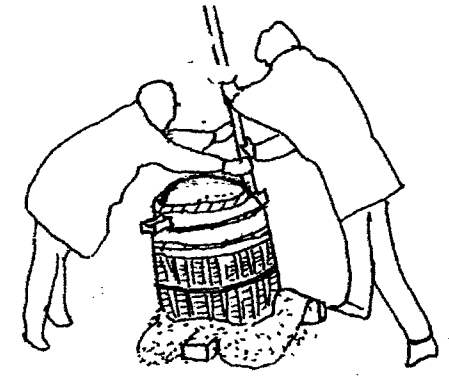
▲大足（おおあし）
田に堆肥を押し込んだり
田を均したりする。



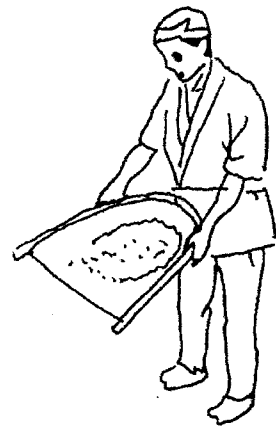
▲田飢え縄
田植えの時、田の両端から縄を張る。一定の間隔で縄に
印が付いていて、苗を等間隔で植えられる。



▲足踏み脱穀機（あしぶみだっこき）
穀物の実を穂から取る。



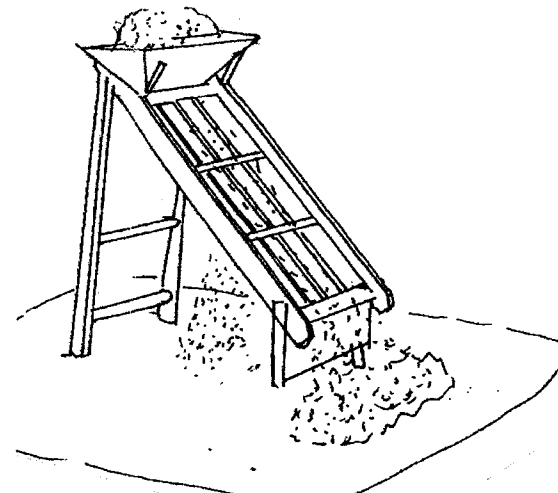
▲土摺臼（どずるす）
籾（もみ）を摺り、玄米と籾殻に分ける。



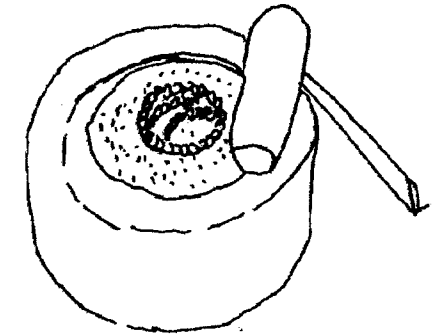
▲箕（み）
風にあおって穀物と籾殻
（もみがら）を分ける。



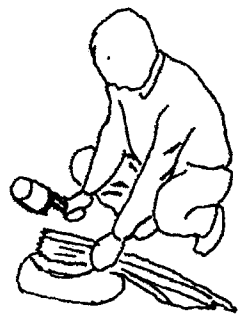
▲唐箕（とうみ）
風を起こして穀物と籾殻を分ける。



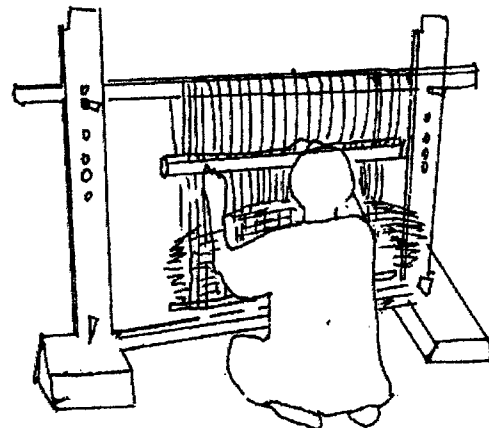
▲万石（まんごく）
米の大きさを分ける。くず米や「小さな米は
網目の下に落ち、大きい米は網目の上を通る。



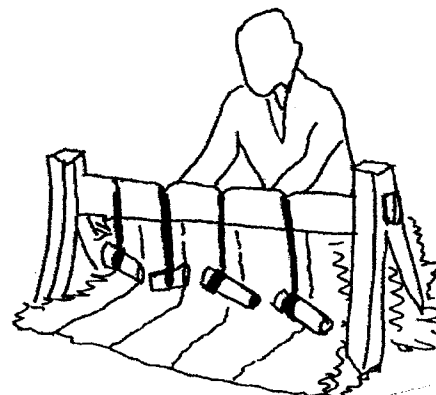
▲米搗（つ）き用の臼（うす）と杵（きね）
玄米を搗いて糠（ぬか）をと取り、白米にする
米搗き用の臼は縁がえぐれている。杵も先端が
へこんでいる。米が臼の中でよく回るように
縄で作った輪を入れる。



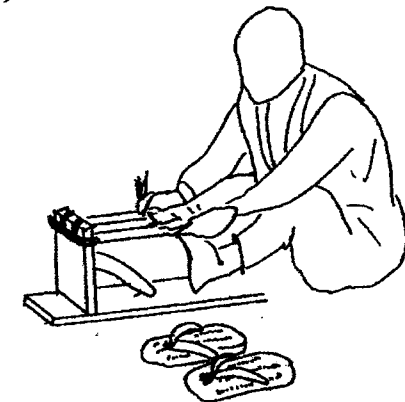
▲つちんぼ
藁（わら）を叩いて軟らかくする。



▲蓆編み機（むしろあみき）
蓆を編む。



▲俵編み台（たわらあみだい）
米俵や炭俵（すみすご）を編む。



▲草履編み台（ぞうりあみだい）
足の指の形をしており、縄を引っ掛け
て草履を編む。